

- ・森林植生が生態系内の物質循環および河川や土壌の無脊椎動物に与える影響
- ・コケ植物の元素濃度や同位体比が大気降水物の指標として応用可能か
- ・魚類体組織の同位体比から、彼らの行動履歴の再現を試みる



大学院理工学研究部(理学)
特命助教 太田 民久

研究分野

森林圏科学

研究のキーワード

河川、森林、カルシウム、安定同位体、コケ植物

研究の内容

植物は、様々な元素を吸収・排出しています。その過程で、他の生物にとって栄養塩となる物質や毒性物質を生態系に蓄積させることがあります。そういった植物の特性が他の生物に与える影響を研究しています。同時に、環境中の各種同位体データから、生物の移動履歴や大気降水物の起源を推定する手法開発も行なっております。

産学連携・特許

現在、氷見市などと連携して、水産有用種の行動を同位体データから推定する手法を開発しております。

科研費等外部資金

その他、社会貢献・受賞など

研究の概要図